

産地戦略

実施主体 群馬県（東部農業事務所桐生地域農業課）
 都道府県 群馬県
 対象地域 桐生市、みどり市
 対象品目 半促成ナス

実施期間 令和8～12年度



新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
● 化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

目指す姿

管内の施設ナスでは、一部ほ場で長年の連作に伴う塩類集積が進み、生理障害が発生しやすい状況にある。現地では緩効性肥料の基肥に加え、果実肥大期には通路への追肥や液肥施用を行っているが、施肥量や時期の判断は経験に頼っており、適切な管理が難しい。そこで、点滴かん水による穏やかな水分管理と液肥の局所施肥を導入し、施肥効率の向上を図る。

現在の栽培体系

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
主な作業名	▲	▲	[作業期間]										
	定植				収穫								
技術名	← 通常かん水（従来型かん水） →												

グリーンな栽培体系

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
主な作業名	▲	▲	[作業期間]										
	定植				収穫								
技術名	← 点滴かん水 →												

グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R7	目標R12	備考
（参考）対象品目の作付面積（ha）	27	▶ 27	
グリーンな栽培体系の取組面積（ha）	0.1	▶ 0.5	
環境にやさしい栽培技術の取組面積（ha）	0.1	▶ 0.5	
省力化に資する技術の取組面積（ha）	0.1	▶ 0.5	

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境省力	通常かん水（従来型かん水）	▶ 点滴かん水	用水量、施肥量の削減（施肥効率の向上） 施肥・かん水作業の効率化
		▶	

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
環境省力	点滴かん水の導入による施肥効率向上・作業効率化面積	0.1	▶ 0.5	
			▶	
			▶	
			▶	

* 環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する（有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする）
* 化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

点滴かん水設備の導入には一定の初期費用を要するものの、その効果を現地で実証し、点滴かん水と局所施肥による用水量、施肥量の削減（施肥効率の向上）や作業効率化等をマニュアルとして整理・共有することで、地域への円滑な普及・定着を図る。

関係者の役割

関係者名	群馬県（桐生地域農業課）	JA(つつみどり)		
役割	生産技術にかかる調査・研究 技術情報による農家指導 栽培マニュアル作成	技術情報による農家指導 農業者との調整等		

事業を活用して導入した農業機械等の活用面積の目標

農業機械名			
* 該当なし			

生産物の販売方法、消費者理解の醸成の取組等

* 該当なし

その他